

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2060090 001

【1.基本情報】

事業名	図書館利用推進事業				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和33 年度～	年度	根拠法令・関連計画	図書館法	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が心豊かで文化的な生活を送るため、読書推進を図るとともに学習を支援する
事業の内容		図書館資料の閲覧や貸出事業、レファレンス事業及び住民の学習支援のための蔵書の充実、読書推進のための各種行事の開催
事業の対象	何を	図書館資料や情報
	誰に	岐阜市民及び市内在勤、在学者
	どのくらい	図書館蔵書資料の充実
令和3年度 (実施内容)		図書資料の充実を図るとともにボランティアと協働でお話会や本や資料の充実で、人とまちをつなぐ各種イベントを開催するなど、図書館の利用推進を図った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	176,800	5,200	169,000	5,200	176,358	5,460
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	166,296	15,990	164,697	15,990	164,697	15,990
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	18,593	3,956	18,610	3,877	21,182	4,413
計(A)	361,689	25,146	352,307	25,067	362,237	25,863

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		168,749	186,746	177,759
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	図書購入費	74,609	74,456	76,908
	雑誌等購入費	12,247	12,485	12,720
	施設管理	64,681	82,163	71,415
	集配・返却等業務委託	17,212	17,642	16,716
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		168,749	186,746	177,759

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	530,438	539,053	539,996

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	4,549	8,227	6,518
計(F)	4,549	8,227	6,518

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	525,889	530,826	533,478

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	709,532	572,565	668,512
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	蔵書数	単位	冊
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	820,000	840,000	860,000
実績値	815,304	827,924	850,662

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	貸出数	単位	千冊
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2,500	2,500	2,500
実績値	2,295	1,776	1,976
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	図書館は学習や情報基盤の拠点として、広く市民等に利用される施設である。 市民等の身近な生涯学習施設として不可欠である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	学校連携事業や、近隣市町村との相互協力等を実施し、図書館の利用を推進する。 地域ボランティアや協議会等と協働して、各種事業を実施する。また、委託により効率的に業務実施が可能なものは積極的に委託し、円滑に図書館を運営する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	新型コロナウイルス感染症による臨時休館の影響があり、減っていた貸出数は、戻りつつある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	あらゆる世代の利用者に満足していただけるような図書資料の選書と収集に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	地域住民の生涯学習を推進する拠点として、広く住民等に利用される施設を目指して、多様なニーズに応えられるような手厚いサービスを提供する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市読書サークル協議会補助金				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市読書サークル協議会
実施期間	昭和49 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市内にある約40の読書サークルをまとめている団体であり、協議会の主催する講座を継続させることで市域における住民の読書活動及び生涯学習の推進を図る、
事業の内容		文学講座を実施し、読書活動、生涯学習の機会を創出していく協議会に対し、補助を行う。
事業 の 対 象	何を	協議会の活動に対する支援
	誰に	岐阜市読書サークル協議会
	どのくらい	協議会が開催する講座に必要な経費の一部
令和3年度 (実施内容)		多くの市民が参加する文学講座の開催を支援

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	476	14	455	14	452	14
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	476	14	455	14	452	14

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		103	103	103
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	団体補助金	103	103	103
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		103	103	103

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	579	558	555

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	579	558	555

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	協議会加入サークル	協議会加入サークル	協議会加入サークル
受益者数	42	46	43
受益者負担額(千円)	971	915	762
受益者負担率(%)	167.7%	164.0%	137.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,786	12,130	12,912

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	講座実施回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	36	36	36
実績値	33	18	32

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2,580	2,580	2,580
実績値	2,342	699	1,305
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域に根ざしたサークルの読書普及活動を支援し育成していくことは図書館の役割である。 市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策であり、当該協議会の活動は図書館の施策に沿っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	当該協議会の活動を支援し、図書館と連携した事業として実施。 当該協議会が主体的に活動を行うことにより、効率的な事業の運営が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	すでに市内全域に会員を擁しており、広域的な読書活動の普及が期待できる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	主催事業への参加者も多く、市立図書館と連携した事業展開が妥当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	当該協議会の活動は市民の読書活動の推進に貢献が認められ、その活動を支援していくことは妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	コミセン巡回図書館				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	その他	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成27 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		地域における図書館サービスの拡大・充実を図るため、コミュニティーセンターにおける図書館サービスを実施する。			
事業の内容		図書室のないコミュニティーセンター(5箇所)への巡回による本の貸出、返却及び予約図書の受け渡し。 巡回時に予約本を受け取れなかった利用者への窓口業務等をコミュニティーセンターの指定管理者への委託。			
事業の 対象	何を	市立図書館資料			
	誰に	市民			
	どのくらい	図書資料の充実と利用者数の増加			
令和3年度 (実施内容)		図書室のないコミュニティーセンター(5箇所)へ木曜日と日曜日の隔週に司書が巡回し、本の貸出、返却、予約図書の引き渡しを行った。巡回時に予約本を受け取れなかった利用者には、コミュニティーセンターの指定管理者に受け渡し業務を委託して、受け渡しを行った。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	4,846	466	4,841	470	4,985	484
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	4,846	466	4,841	470	4,985	484

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,806	1,822	1,822
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	1,806	1,822	1,822
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,806	1,822	1,822

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		6,652	6,663	6,807

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		6,652	6,663	6,807

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	4,991	5,178	5,641
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	巡回実施数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	233	235	242	
実績値	233	198	186	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	貸出数		単位	冊
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	9,200	9,500	9,500	
実績値	10,294	10,208	10,277	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	図書館の利用が困難な市民に等しく図書館サービスを提供する当該事業は市が実施すべきである。 図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図書館サービスを提供することは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館から遠い地域での図書の貸出サービスの向上のためには、地域に密着しているコミュニティセンターとの連携が必要である。 コミュニティセンターは指定管理者であり、連携が必要である。ボランティアの活用ができるかは、これからの実績をみてから検討する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	利用者の更なる増加と資料充実を図る
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図書館サービスを提供することは必要である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	図書館機能の拠点をして、予約本の受取やブックポストの利用が市民に定着してきており、今後も継続していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	乳幼児読み聞かせ事業				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成15 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		子どもの健やかな成長を願って、乳幼児から絵本を介して日常的に親子のふれあいを深めてもらおうという、子どもの読書活動、子どもの健全育成、地域による子育て支援を積極的に推進し、心豊かな社会を実現する。
事業の内容		南・中・北の3保健センターの10ヵ月健康診査時に、受診する親子に対して、図書館と市民ボランティアとの連携により、読み聞かせの大切さをPRし、図書館の本を貸し出す。全国に広まるブックスタート事業と同様の趣旨のもとに展開している。
事業の対象	何を	赤ちゃん絵本と離乳食などの育児支援に関する本の貸出・乳幼児期の読み聞かせの大切さの啓発
	誰に	乳幼児とその親
	どのくらい	岐阜市内の10ヵ月児全員
令和3年度 (実施内容)		今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため希望者をつどり、図書館内で月1回、親子4組限定(2回実施)で実施した。(まん延防止措置や緊急事態宣言の場合は中止あり)通常であれば、各保健センターで10ヵ月健康診査を受診する親子に対して、一か月に2回ずつ行い、その大切さを啓発するとともに赤ちゃん絵本や離乳食などの育児支援関連本の貸出しを、ボランティアと連携して行う。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,244	66	0	0	162	5
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	686	66	0	0	52	5
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	310	66	0	0	24	5
計(A)	3,241	198	0	0	237	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		806	735	697
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	絵本購入	645	645	637
	ボランティア経費	50	50	0
	消耗品	111	40	60
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		806	735	697

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,047	735	934

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,047	735	934

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	乳幼児とその親	乳幼児とその親	乳幼児とその親
受益者数	2,678	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	51
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,511		18,314

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	乳幼児読み聞かせ（絵本といっしょ）事業による新規利用登録者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	250	300	22
実績値	183	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	14

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	10ヶ月検診受信者数（図書館内で事業を実施の場合、参加者数）	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	3,011	2,777	176
実績値	2,903	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	51
達成状況	×（未達成）	—	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	親子のふれあいや子どもの読書活動の推進は、行政として積極的に取り組んでいく施策である。 親子のふれあいと図書館利用の機会づくりであり、地域の密着した市の図書館が実施するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	保健センターと図書館とが連携して、子育て支援や子ども読書活動の推進のための施策として実施することにより、子どもの健全育成と心豊かな社会の実現につながる。 意欲あるボランティアの参画、協力を得て事業を実施する手法は妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	乳幼児の頃から、親子がふれあう機会として、絵本の読み聞かせを推進してきた。親子が時間を共有し、コミュニケーションができる手段として有効であり、乳幼児を持つ保護者が興味を持ってきている。図書館へのおはなし会の参加にも効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	10ヵ月健診は乳幼児のほとんどが受診していると思われるため、保健センターの協力を得て、PRできている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	絵本をとおして親子のコミュニケーションに活用できることを伝え、図書館を活用して絵本を借りたりおはなし会に参加する意識を広めていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ビジネス支援事業				
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成27 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		図書館の持つ情報提供機能を生かし、ビジネスに関する情報を収集、提供するとともに、図書館の利用促進と地域の商工業の活性化、他部署・他機関との連携を図る。
事業の内容		ビジネス支援セミナーの実施やビジネスチャレンジ支援相談窓口の設置、ビジネス関連情報の提供
事業の対象	何を	ビジネスに有益な情報および図書などの資料提供と支援機関への橋渡し
	誰に	岐阜市在住または在勤の市民
	どのくらい	年2回のセミナーと、週2回の相談会、通年のビジネス情報展示
令和3年度(実施内容)		創業を支援するセミナーと創業・経営相談窓口の運営、創業等に役立つ資料の提供と館内展示による広報

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	136	4	130	4	129	4
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	1,050	101	1,030	100	1,133	110
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,186	105	1,160	104	1,262	114

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		115	134	56
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	30	60	5
	消耗品	76	74	42
	会場使用料	9	0	9
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		115	134	56

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,301	1,294	1,318

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,301	1,294	1,318

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	310	198	323
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,198	6,535	4,081

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ビジネス支援セミナー及び相談会の回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	107	102	97	
実績値	101	68	80	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	貸出冊数		単位	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2,290,000	2,290,000	2,290,000	
実績値	2,295,180	1,775,853	1,975,625	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	国・県・市の施策を地域の実情に合わせて実施するために、市が実施することが適当である。 国・県・市の施策を地域の実情に合わせて実施するものであり、幅広い利用者を受け入れ、利用者にとっても参加しやすい図書館で実施することが適当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	県・市の専門的な部署等と連携して実施しており、現状の維持が望ましい。 相談窓口での内容をセミナーに反映させるために、講師には民間人を積極的に起用しており妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	コロナウイルス感染防止のため、一時的に相談窓口やセミナーを中止にせざるをえなかったが、セミナー受講者への相談窓口の紹介や関連情報を即時的に提供するなど、ビジネス支援の入り口としての役割を果たすよう努めている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受講や相談を希望する、ほぼすべての人を受入れできていることから公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	今後も、専門機関等と連携し、市民に必要な情報を提供する役割が期待される。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	006
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	文学と歴史・物語のまち「岐阜」(旧:文学のまち「岐阜」)				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成18 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		図書館における所蔵資料の活用や各種関係団体との協力関係を構築し、郷土関連文学の掘り起こしを行い、幅広い年齢層に対して情報発信を進め、岐阜ゆかりの文学を伝承する。また、文学に縁のない世代が文学に親しみ未来へと続く文学のまちとなる土壌を作るための活動を行う。
事業の内容		岐阜関連文学に関する講演会や文学講座、自分史講座等の開催と関連する資料の展示。小学校や団体への読み聞かせボランティアの派遣や文学に親しむ機会となるイベント等を実施。
事業の 対象	何を	岐阜の文学に関する展示や講演会等の開催
	誰に	市民
	どのくらい	講演会等を年に2, 3回開催する。
令和3年度 (実施内容)		文学に親しむ機会となるイベント図書館文学部などを企画。また、市内各地で行われるお話会に読み聞かせボランティアを派遣。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	340	10	325	10	323	10
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	520	50	515	50	515	50
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	235	50	240	50	240	50
計(A)	1,095	110	1,080	110	1,078	110

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		320	55	170
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	40	15	40
	消耗品費	198	40	110
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		320	55	170

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,415	1,135	1,248

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,415	1,135	1,248

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民一般	市民一般	市民一般
受益者数	1,349	672	689
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,049	1,689	1,811

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	イベント実施回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	5	1	1	
実績値	4	1	1	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,800	900	900	
実績値	1,349	672	689	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は、市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 岐阜の文学や郷土の作家という市民の財産を図書館は保存、提供、活用していく役割を担っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	郷土に関する資料を幅広く展示するため、歴史博物館などとも連携し、各種団体とも協力して実施する。 市民に親しみやすいイベントという形で情報提供し、市民ボランティアによる市民共同事業として実施する手法は妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	それぞれの年齢層を対象としてイベント等を実施し、幅広い年齢層への読書推進を図ることができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	広く市民が参加しており妥当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施していくことが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	007
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	みんなの図書館おとなの夜学				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	委託(NPO)	補助等の種類	-	実施主体	NPO法人ORGAN
実施期間	平成27 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを図書館から発信するため、市民協働を視野に入れて、市民目線でわかりやすく伝えるための多角的・多分野な講座や展示を開催する。また、岐阜市立図書館から全国に向けて、岐阜の魅力をアピールする試みとして、WEB動画を用いて講座の様子を情報発信し、過去の講座をブックレットにする。
事業の内容		岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家、その道の第一人者による対談やパネルディスカッションを実施する。
事業の対象	何を	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを伝えるための多角的・多分野な講座や展示の開催及びWEB動画を用いて講座の様子を情報発信、およびブックレットの制作
	誰に	一般成人・WEB動画視聴者
	どのくらい	一般成人・WEB動画視聴者
令和3年度(実施内容)		【講座(おとなの夜学)】 ■岐阜市の美味しい可能性 ■蓑虫山人、美濃に帰る ■発見！岐阜市の円空さん 【展示】 ■発見！岐阜市の円空さん ■写真展 岐阜町 町家を遊ぶ

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	119	4	98	3	97	3
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	36	4	31	3	31	3
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	155	7	128	6	128	6

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,810	2,248	2,115
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	2,274	1,980	1,847
	印刷製本費	536	268	268
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,810	2,248	2,115

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	2,965	2,376	2,243

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	53	19	47
計(F)	53	19	47

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	2,912	2,357	2,196

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	一般市民等	一般市民等	一般市民等
受益者数	364	195	101
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	8,001	12,089	21,741

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	8	8	6
実績値	7	6	5

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	受講者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	400	400	400
実績値	320	195	101
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民のシビックプライドの醸成のための役割を担っておりニーズに合っている。 岐阜市ならではの生活・文化等を学ぶ場であり、国・県が主体になるものではなく、まちづくりに詳しいNPOに業務を委託している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館の人気講座となっており、費用対効果は高い。 NPOとの協働事業として実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎回、人員を確保できており、市民にとって魅力ある事業と位置付けられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は一般成人およびWEB動画視聴者であり適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	多くの参加者が集まる人気講座として定着しており、市民のシビックプライド醸成に資する役割として今後も継続していくことが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2060090 008

【1.基本情報】

事業名	子ども司書育成				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成27 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図る。
事業の内容		専門家を講師として招き全16回程度の子ども司書育成講座を行う。
事業 の 対 象	何を	子ども司書養成講座の受講及び認定
	誰に	小学校高学年から中学生
	どのくらい	小学校高学年から中学生(20名程度)
令和3年度 (実施内容)		コロナ対策として定員を10名、対象を小学4年生から6年生までに絞り募集したところ、53人の応募があった。8月に2回10コマの講座を行い、参加した10名を子ども司書として認定した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	102	3	49	2	48	2
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	73	7	36	4	36	4
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	175	10	85	5	85	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		70	41	45
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	70	41	40
	消耗品費			5
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		70	41	45

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	245	126	130

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	245	126	130

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	20	10	10
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	12,240	12,580	12,950

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	子ども司書の派遣回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	0	0	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	受講応募者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80	80	80	
実績値	85	62	53	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子どもの読書啓発のためには、友人同士の読書の広がりが効果的である。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としており、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	1年間に育成する司書は10人とそれほど多くはないが、その後図書館や学校での活動などにつながり効果が高い。 必要十分な講座を行っており他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図っている。 人気の高い講座であり、例年抽選となっている。修了した子どもたちがすでに活躍しており、魅力ある事業である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は小中学生であり、負担額もゼロであるため適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	子どもの読書推進に資するほか、子どもの社会性を育む事業として、今後も継続していくことが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	009
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	子どもラジオ放送				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成28 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		平成27年度より養成している子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら学んでもらい、自発的な意思を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広げていくことを目指す。
事業の内容		子ども司書が企画会議を経て、番組を作成。自らがパーソナリティとなり、ラジオ収録を行い館内やFMわっちで放送を行う。なお、本事業はぎふメディアコスモスで事業展開している「てにておラジオ」と連携している。
事業の対象	何を	子ども司書によるラジオ放送を活用した情報発信
	誰に	子ども司書(小学生高学年から中学生)
	どのくらい	小学生高学年から中学生(40人程度)
令和3年度(実施内容)		毎月、最終日曜日に子ども司書の企画立案によるラジオ放送をてにておラジオにて実施した。また、FMわっちにおいて、その番組の録音を放送した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	408	12	325	10	388	12
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	250	24	206	20	247	24
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	658	36	531	30	635	36

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		123	95	125
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	123	95	125
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		123	95	125

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	781	626	760

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	781	626	760

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	20	20	20
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	39,030	31,300	37,990

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ラジオ放送収録回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	12	12	12	
実績値	12	9	12	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	子ども司書養成講座の応募者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80	80	80	
実績値	85	62	53	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子ども司書講座を修了した子どもたちの活動の場であり、国、県が主体になるものではない。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としているため、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子ども司書講座修了の子どもたちが活動する場であるため、効率的な事業である。 当該事業は子どもたちと市民団体との協働を基本趣旨としている。メディアコスモスにて公開放送を行う市民ラジオ「てにておラジオ」への業務委託を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら自発的な学びあいを通して、表現力・創造力を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広がることを期待している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	子ども司書は、公募にて募集しており、受益者として適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	子どもの情報発信力を高め、活躍の場を与える事業として、今後も継続していくことが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	010
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	作家と語ろうin岐阜(旧 著者に会いたい)事業				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成28 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		市民に作家や作品の魅力を伝え、作品への興味を持ち読書に親しむことの大切さを啓発する。
事業の内容		普段、作品を通じてしか接することのできない作家を招いて語ってもらうことにより、作家の作品のみならず作家自身の魅力に触れる機会を作る。作家を知り、作品の理解を深め、興味を持つきっかけとなるようなイベントを行う。
事業 の 対 象	何を	作家の講演会
	誰に	市民
	どのくらい	年に1回程度
令和3年度 (実施内容)		作家のこだわりや経験など作家自身に関わることや作品に関わることをお話しいただく講演会を開催した。同時に関連展示を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	170	5	163	5	162	5
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	104	10	103	10	103	10
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	274	15	266	15	265	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		196	201	224
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	150	200	200
	旅費	46	1	23
	食糧費	0	0	1
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		196	201	224

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	470	467	489

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	470	467	489

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民一般	市民一般	市民一般
受益者数	70	73	160
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,714	6,390	3,053

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2	2	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100	100	500
実績値	70	73	160
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公共図書館が実施すべき施策である。 市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	広域的な連携が可能であれば、連携は必要。 市民の参加が可能な場面では協働で行うことは必要。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民の事業への参加が読書活動につながり、読書の普及に期待できる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が参加しており妥当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施することが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2060090 011

【1.基本情報】

事業名	図書館発！まちづくり事業				
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成29 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		本棚のあるまちづくりを推進するため、市民を対象とした講座を行ったり、市民文庫を中心市街地に設置するなどし、本を媒介に人と人がつながる場をつくることを目的とする。
事業の内容		図書館が商店街の中に本棚を置いて定期的に特集展示を行ったり、お店などに本棚を置きたいと考えている店主を対象に本のある空間づくりをテーマとした講座を行い、本を通じて人と出会い、本を交換しながら人を繋いでいく活動を市民に推進していく。
事業の対象	何を	専門家を講師として
	誰に	一般市民
	どのくらい	ライブラリアン養成講座 年1回 特集展示年6回
令和3年度(実施内容)		新型コロナウイルスの影響で養成講座は中止となった。メディアコスモス6周年記念イベントにおいて、まちライブラリー@メディアコスモスを設置し、訪れた人にまちライブラリーの活動を知ってもらう機会を提供した。また、屋外用の展示ラックおよびイーゼルを購入した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	98	3	97	3
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	73	7	31	3	31	3
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	141	9	128	6	128	6

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		149	236	66
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	70		
	印刷製本費	43		
	消耗品・備品		236	66
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		149	236	66

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	290	364	194

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	290	364	194

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	68	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,262		

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	講座開催		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1	1	1	
実績値	1	—	—	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	50	50	50	
実績値	68	—	—	
達成状況	○（達成）	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本を媒介とした市民のコミュニケーションを目的としており、ニーズに合っていると考えられる。 地域に密着した図書館として、市が担う必要があると考えられる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	多くの市民が本と出会う場の創出につながるものとして費用対効果は適正である。 本を専門とする市立図書館が主体となって行うべき事業であり他に効率的な方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	人員を確保できており、アンケートに答えた参加者の多くが「満足」としている。市民にとって魅力ある事業である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は一般市民であるため適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	地域に密着した図書館として存在感を高め、地域の活性化に資する事業として、今後も継続していくことが妥当である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2060090	012
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	本de子育てカフェ				
担当部名	市民協働推進部	担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成29 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		図書館では、子育て世代の利用が増えており、子どもを育てる場として市民に受け入れられつつある。そうした中、手探りで育児に奮闘する親たちに、各家庭における子育てのヒントとなる情報発信を行う。
事業の内容		児童、中高生など、様々な子どもの親を対象に、子育て等の専門家による「本と子育て」をテーマとした講座を行う。
事業 の 対 象	何を	専門家による講演会等
	誰に	市民一般
	どのくらい	年に2回
令和3年度 (実施内容)		作家や本に関連する専門家によるワークショップや読み聞かせ等、子育て中の保護者を対象のイベントを実施。(まん延防止措置のため、2回のうち1回は中止)。同時に関連展示を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	136	4	65	2	32	1
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	114	11	72	7	31	3
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	250	15	137	9	63	4

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		231	201	101
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	230	200	100
	食糧費	1	1	1
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		231	201	101

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		481	338	164

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		481	338	164

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	216	58	45
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,229	5,829	3,649

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	3	3	2	
実績値	3	2	1	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	アンケート結果のうち、「参考になった」と回答された割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	70	70	70	
実績値	91	63	93	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。
		市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	広域的な連携が可能であれば連携は必要である。 また、市民の参加が可能な場面では協働で行うことは必要である。
		専門家への講師を依頼している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施し、子育ての参考となるよう支援している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施しており、広く市民が参加している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	育ての支援として、今後も継続していく。